

男女共同参画推進連携会議「経済分野における女性の活躍促進」チーム第2回会合議事概要

1. 日 時 : 平成30年7月27日(金) 10:00~12:00
2. 場 所 : 中央合同庁舎8号館4階416会議室
3. 議 事 : (1) 議員の交代について
(2) 「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言について
 - ・「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言賛同者ミーティングの開催報告
 - ・行動宣言賛同者によるコミットメント実行事例
ジョンソン・エンド・ジョンソンにおけるダイバーシティとインクルージョンについて
(ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ
コーポレートガバメントアフェアーズ&ポリシー統括責任者 江端貴子氏)
(3) WEPsリーフレットの改訂について
(4) 女性起業家支援に向けた各地方自治体等での取組一覧について
(5) 最近の男女共同参画の動き等について
(6) 意見交換
4. 出席者 :
(有識者議員)
明石議員、飯田議員、大崎議員、上林議員、松永議員、山屋議員、渡邊議員

(団体推薦議員)
矢野議員、降旗議員、潮議員、木下議員、三輪議員、國分議員、富澤議員、伊藤議員、平田氏(糸数議員代理)、高松議員、藤沢議員、金野議員、中川氏(澤田議員代理)、梶原議員、名取議員、杉田氏(佐藤議員代理)、清塚議員

(発表者)
・ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ
コーポレートガバメントアフェアーズ&ポリシー統括責任者 江端 貴子氏

(事務局)
岡本 内閣府大臣官房審議官(男女共同参画局担当)、岡田内閣府男女共同参画局総務課長、
符川 内閣府男女共同参画局男女共同参画推進官、吉田 内閣府男女共同参画局総務課企画官、
上西 内閣府男女共同参画局政策企画調査官

5. 議事概要

○議事1について、交代のあった団体推薦議員である木下議員、國分議員、梶原議員より所属団体等の取組等を含め自己紹介があった。

○議事2について、資料2-1に基づき、事務局より平成30年3月に行われた「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言賛同者ミーティングについて説明が行われた。またリーフレット『輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会』行動宣言賛同への招待に基づき、リーフレットの改訂について説明した。それらを踏まえ、意見交換を行った。

- ・過去に参加したが、各経営者がお互いを刺激し合い、D&Iを刺激する良い会であった。前回、基調講演を行ったカルビー(株)松本会長(当時)のように好事例を発表することやフリップボードに想いを書き、意見交換することで好事例を感じ合うことは良いと思う。本ミーティングにまだ参加していない経営者に広めていくことが大事である。
- ・来年3月はWAW!やG20の女性関連のイベントなど、国際的なフォーラムが同時に開催する。WAW!の中で取組や成果について発表したら盛り上がる感じる。
- ・男性トップの好事例を参考になるため、登壇者の好事例の紹介を続けてほしい。
- ・本ミーティングでは女性のロールモデルも一緒に参加できる点が特徴的である。上場企業約3,500社の中で賛同者は170名余りである。皆様の団体の力でより一層の周知活動をお願いしたい。
- ・男性リーダーとして、自治体も参加していることを本日知った。地域の皆様の参加を促したい。また、自治体の事例を説明してほしい。
- ・中小企業分野にこのような宣言があることやどういう取組があるのか紹介してほしい。中小企業庁や経済産業省ともタイアップしてはどうか。
- ・ミーティングは地方開催も検討し、各地で実施してほしい。

○議事2について、資料2-2に基づき、ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループコーポレートガバメントアフェアーズ&ポリシー統括責任者 江端氏より、ジョンソン・エンド・ジョンソンにおけるダイバーシティとインクルージョンについて発表が行われた。

○議題3について、資料3-1、3-2、参考資料3、およびWEPsリーフレットに基づき、事務局より、WEPsリーフレットの改訂案の説明が行われ、改訂に関する議員の主な意見は以下のとおり。

- ・改訂に賛成する。「国際的視点からCSR経営品質の向上に貢献する」という視点と、WEPsがSDGsと重なるものだ、ということを確認にしたことが非常に良い。政府もソサエティ5.0をSDGs目標に沿って進めていくことを明確に打ち出した。企業の受け止め方として、WEPsがSDGsやCSR

経営と重なるものだと明確になり、受け入れやすくなったと思う。「女性の力を企業活動に取り込む、新しい企業の姿を示します」という項目も、攻めのウーマノミクスという視点と重なり良いと思う。

- ・前回からの変化として、これらの原則を実現する実現するわかりやすい例で最新のものをに入れてほしい。
- ・問い合わせ窓口がわかりにくい。これが何であるのか新規に署名する時だけでなく企業のトップが変更になった時にも説明しやすいように記載してほしい。また、署名のメリットがわかりにくい。さらにどのような企業が署名しているのかすぐわかるようなものがあると良い。
- ・グローバル企業が中心だが、中小企業の事例も入れていただきたい。

○議題4について、資料4-1、4-2に基づき、事務局より、女性起業家支援に向けた各地方自治体等での取組一覧について、前回からの主な改訂点や掲載場所等の説明が行われた。

○議題5について、資料1-1、1-2、資料2、参考資料1、2、4に基づき、事務局より最近の男女共同参画の動き等について説明を行った。

○議題6について、今後のチーム活動について意見交換を行った。

- ・男性リーダーの会には過去に参加したが、各経営者がお互いを刺激し合い、D&Iを刺激する良い会であった。前回、基調講演を行ったカルビー(株)松本会長(当時)のように好事例を発表することやフリップボードに想いを書き、意見交換することで好事例を感じ合うことは良いと思う。
本ミーティングにまだ参加していない経営者に広めていくことが大事である。
- ・男性トップの好事例を参考になるため、登壇者の好事例の紹介を続けてほしい。
- ・女性起業家への取組については地方での取組に差を感じる。中小企業はメリットを打ち出さないと動かない、となりがちだが、地域全体の意識を向上させることで自分達の経営を向上させる、という意識の醸成が必要である。女性起業家を増やす活動もチーム活動で取り組んでいきたい。
- ・税理士は中小企業の相談相手であり、税理士への理解を進めることで、各地で男女共同参画が進んでくるのではないか。そのため各税理士会の幹部と女性税理士との懇談会を初めて開催した。その内容を次回の総会の分科会にて報告し、意見を取りまとめて、フィードバックしていくことを考えている。
- ・女性起業家大賞を年1回実施している。賞をもらってもバックアップしていかなければならない。本日いただいた一覧を紹介して起業後の支援もしていきたい。

○最後に、事務局より、バーレーン大使館からの案内であるプリンセス サビーカ アル=アリ

ーファ賞の応募の案内があった。また。明石コーディネーターより、今後のスケジュールについては事務局より改めて連絡することの連絡を行った。

以 上